

(9) 教育費

事業名	英語指導員招致事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	学校教育課	学事係		項	01	教育総務費
				目	02	事務局費
事業費		19,513,178 円	事業の目的・目標	外国から指導助手を招致し、全小中学校を訪問することにより英会話への意欲・ヒアリング能力・コミュニケーション能力を向上させることを目的とする。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	1,126,811 円				
一般財源	18,386,367 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

8月より指導助手を1名増員により4名体制とし、市内全小中学校を巡回訪問し、英語指導を行った。

小学校においては、令和2年度より施行される新学習指導要領への移行措置として平成30年度に引き続き小学校3年生以上で外国語活動を行い、外国語に触れる機会を多く持つとともに外国語を使ったやり取りを楽しむ活動を外国語指導助手と行った。

中学校においては外国語指導助手と関わる中でヒアリング能力・英会話能力の向上が見られ、外国語を使って「伝わる」喜びを「伝えたい」という意欲につなげることができた。

●小学校・学年別訪問授業時数 1,443 時間 (単位：時間)

	郷田小	渡津小	江津東小	川波小	津宮小	高角小	桜江小
1年生	0	0	1	1	0	0	0
2年生	0	0	1	1	0	0	0
3年生	31	29	33	33	69	34	38
4年生	29	30	33	32	65	34	35
5年生	49	65	65	63	75	69	52
6年生	39	70	65	63	88	71	57
特別支援学級	0	3	0	0	20	0	0
その他全校行事等	0	0	0	0	0	0	0
合計	148	197	198	193	317	208	182

●中学校・学年別訪問授業時数 1,381 時間

	江津中	江東中	青陵中	桜江中
1年生	265	59	104	42
2年生	267	46	110	52
3年生	177	38	102	39
特別支援学級	0	28	52	0
その他全校行事等	0	0	0	0
合計	709	171	368	133

○事業の実績

費目	決算額 (円)	備考
報酬	13,923,847	外国語指導助手報酬 (7月まで3名、8月より4名)
共済費	2,049,076	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
旅費	482,920	学校訪問旅費、研修旅費
需用費	77,856	教材用消耗品
役務費	51,840	住宅仲介手数料
使用料及び賃借料	2,141,040	住宅借上料
備品購入費	143,874	新規招致外国語指導助手用備品
負担金補助及び交付金	642,725	自治体国際化協会負担金、渡航費用負担金
合計	19,513,178	

事業名	江津市教育研究会助成事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 〔R2部署〕	学校教育課	管理係		項	01	教育総務費
				目	02	事務局費
事業費		5,732,000円	事業の目的・目標	「生きる力」をはぐくむ教育を実践するため、教科部会・専門部会等により組織的活動や各種事業を行い、本市の教育の発展に寄与する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	5,400,000円				
	その他	円				
	一般財源	332,000円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容および実績

●小学校外国語活動充実事業

- ①小学校外国語活動先進校視察 ①松江市立八束学園 12名参加
- ②研修会の実施 ①桜江小学校 授業研究、研修会 (R1. 10. 24) 28人参加
- ②高角小学校 授業研究、研修会 (R2. 1. 28) 33人参加

●中学生キャリア教育推進事業 (R1. 7. 31 江津市総合市民センター)

「あきらめない」

講師 株式会社日進産業 代表取締役 石子 達次郎 氏

対象 市内中学生 555人、市内中学校教職員 70人

●江津市教職員資質向上研修

・実施日時及び場所

R1. 6. 26 (1回目)、R1. 7. 26 (2回目) 江津市地場産業振興センター

・実施内容

①講義・演習 「先生のためのワークライフバランス及び働き方改革」

講師 先生の幸せ研究所 代表 澤田 真由美 氏

対象 市内小中学校教職員 50人

②講演 「こどものよさを見つけ引き出すには？」

～自尊心の向上と学級作りについて～

講師 京都大学学際融合教育研究推進センター教授 木原 雅子 氏

対象 市内小中学校教職員 77人

●事業費用

項目	決算額 (円)
1. 島根県小学校校長会負担金補助	154,000
2. 島根県中学校校長会負担金補助	84,000
3. 生徒指導研修会補助金	20,000
4. 島根県教育研究会各教科・専門部補助金	271,000
5. 江津市教育研究会研究補助	331,000
6. 児童文化振興費補助金	287,000
7. 小中音楽会児童生徒輸送費、楽器運送費会場借上料補助	350,000
8. 教職員研修会補助金	10,000
9. 校内研修会補助金	33,000
10. 江津市学校保健会補助金	160,000
11. 島根県学校保健会補助金	20,000
12. 「江岸の子ら」編集補助	230,000
13. 江津市中学生英語ワークショップ事業費補助金	160,000
14. 江津市中学校職場体験事業補助金	120,000
15. 総合学習に伴う補助金 (小・中)	495,000
16. 江津市小中学校資質向上研修補助	800,000
17. 中学校キャリア教育推進事業	1,000,000
18. 小学校外国語活動充実事業補助	510,000
19. 情報教育講演会開催補助金	450,000
20. 人権・同和教育推進活動費	247,000
合計	5,732,000

○事業の効果

教育の充実は、直接の担い手である教員の資質能力に負うところが極めて大きい。そしてその能力は研修等を通じて生涯にわたり形成されていくものであり、本事業はその意味において重要である。

事業名	不登校等支援事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	学校教育課	学事係		項	01	教育総務費
				目	02	事務局費
事業費		9,985,220円	事業の目的・目標	教育支援センター（あおぞら学園）において、不登校及び不登校傾向の児童生徒への教育相談や体験活動、学習支援を行い、学校生活への復帰を支援する。 家に引きこもりがちな児童生徒に対しては家庭訪問や安心して過ごせる居場所を提供するなどの支援を行い、学校復帰（社会復帰）のきっかけを作る。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	6,011,452円				
	一般財源	3,973,768円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 運営体制 教科指導員8名・指導員7名
- 開設場所 江津市教育支援センター あおぞら学園（江津保健センター内）
- 開設状況 曜日：月～金曜日 時間：9：30～16：00

- 主な内容
 - ・不登校児童生徒の在籍校、家庭や関係機関と連携しながら、集団生活への適応、基本的な生活習慣の改善等に取り組み、学校復帰への支援を行う。
 - ・児童生徒の抱える悩みに寄り添い、教科指導や体験活動、相談等を通して児童生徒の心の安定、自己理解を図るとともに保護者の支援を行う。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
共済費	776,020	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
賃金	7,226,800	謝礼金（教科指導員・指導員）
報償費	20,000	体験活動謝礼金
旅費	215,250	生徒指導連絡会・家庭訪問等
需用費	853,294	消耗品・燃料費・光熱水費
役務費	151,017	電話料
委託料	299,073	コンピュータ更新業務委託料
使用料及び賃借料	102,940	AED借り上げ料、コピー機使用料ほか
備品購入費	340,826	コンピュータ、プリンタ購入費
合計	9,985,220	

- 事業の効果
- ・個々の目標を設定し、集団生活への適応に向けて体験活動や学習支援を行ったことで学校への復帰に前向きな気持ちを持つことができた。
 - ・適応指導教室（あおぞら学園）への通園日数は、指導要録上は出席扱いとなる。
 - ・定期的に在籍校と支援方法等を検討する機会を設け、学校復帰へつなげることができた。
 - ・家に引きこもりがちな児童生徒が、外に出るきっかけとなり、居場所づくりとなった。
 - ・保護者の抱えている悩みに向き合い、継続して関わることで、保護者及び児童生徒の心の安定を図ることができた。

事業名	学校司書等配置事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	学校教育課	学事係		項	01	教育総務費
				目	02	事務局費
事業費		10,631,182 円	事業の目的・目標	児童生徒の読書活動の推進及び学校図書館の効果的な活用・運営を図るため、小・中学校に学校司書等の配置を行い、学校図書館機能の充実を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	5,346,000 円				
	地方債	円				
	その他	5,028,595 円				
	一般財源	256,587 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

市内全小・中学校に学校司書等（司書資格を問わない）を配置し、児童生徒へ本の紹介・アドバイス・リクエストへの対応、読み聞かせ等を行い、学校図書館機能の充実を図る。また、学校図書館を活用した授業への取り組みを行い、学びを深める場としての学校図書館の活用について実践研究を行った。

●事業実施校 市内の全小・中学校

- ① 学校図書館支援員【配置時間 1時間/日×5日/週×35週】 2校
江東中学校・桜江中学校
- ② 学校司書等A【配置時間 5時間/日×5日/週×35週】 8校
郷田小学校・渡津小学校・江津東小学校・川波小学校・高角小学校・桜江小学校・江津中学校・青陵中学校
- ③ 学校司書等B【配置時間 6時間/日×5日/週×52週】 1校
津宮小学校

○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
報酬	1,704,450	学校司書B報酬(1校)
共済費	360,016	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
賃金	8,030,000	学校司書A賃金(8校)
謝礼金	371,800	学校図書館支援員謝礼金(2校)
旅費	99,370	司書研修(浜田教育センター等)・公開授業参加
需用費	20,495	研究用消耗品費
図書購入費	45,051	研究用図書購入費
合計	10,631,182	

○事業の効果

学校司書を配置し、読書活動の推進及び学校図書館の環境整備を行ったことにより児童生徒の読書量は増えており、学校図書館の持つ機能のうち読書センターとしての活用については成果が見られた。

「人のいる」学校図書館の実現により児童生徒にとって読書活動や本がより身近なものとなり、全国学力調査における調査では読書に親しむ児童生徒の割合が全国を大きく上回る結果となった。

また、小学校1校（渡津小学校）が平成30年度に引き続き学校図書館活用教育研究事業に取組み、学校図書館を活用した授業について研究実践を行った。研究授業を広く公開することにより市内の小中学校における授業での学校図書館活用への意識の高まりが見られた。

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	学校教育課	学事係		項	01	教育総務費
				目	02	事務局費
事業費		1,144,820 円	事業の目的・目標	不登校や問題行動等の課題を抱えた児童生徒の背景には複雑に絡み合った周囲の環境が影響していることが多いため、児童生徒の気持ちに寄り添い支援するとともに、専門の関係機関と連携して環境に働きかけ、状況の改善を図り、健全育成へとつなげる。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	1,144,000 円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	820 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 運営体制 スクールソーシャルワーカー 1名
- 配置形態 派遣型
 - ・教育支援センター（あおぞら学園）に配置し、要請のあった学校や家庭に派遣し活動する。
- 活用方法 教育委員会の生徒指導担当指導主事と連携し、困難な状況を抱える児童生徒を把握するとともに、在籍校や家庭への訪問を通して、状況の改善を図る。
- 主な内容
 - ・問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ
 - ・関係機関等のネットワークの構築、連携・調整
 - ・保護者に対する支援・相談、教職員への情報提供

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
賃金	1,067,500	相談員（1名）賃金
旅費	77,320	家庭訪問・学校訪問・福祉施設訪問
合計	1,144,820	

- 事業の効果
- ・困難さを抱える児童生徒の家庭を訪問し、学校や教育支援センターへ向かうよう支援した。
 - ・学校や関係機関等とのケース会議に参加し、保護者や児童生徒の思いや状況を伝え、環境の改善に向けて連携を図ることができた。
 - ・悩みを抱えている保護者と向き合い、前向きな気持ちで子どもと接することができるよう継続的に支援した。
 - ・複雑な背景を抱えている児童生徒の家庭に対して、関係機関と連携し、問題解決のためのネットワークづくりを行った。

事業名	指導主事配置事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	学校教育課	学事係		項	01	教育総務費
				目	02	事務局費
事業費		12,332,422円	事業の目的・目標	①生徒指導担当指導主事1名を配置し、不登校やいじめ等の課題に学校・関係機関と連携して取り組み、児童生徒の健全育成につなげる。 ②小学校籍と中学校籍の学力育成担当指導主事各1名を配置し、教科全般にわたり教員の授業力向上のための学校訪問を行い、児童生徒の学力育成につなげる。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	7,900,000円				
	その他	円				
	一般財源	4,432,422円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

業務内容	小学校訪問回数	中学校訪問回数	合計
生徒指導支援の学校訪問	110回	40回	150回
授業力向上の学校訪問	214回	101回	315回

○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
職員手当等	300,136	指導主事時間外手当
旅費	153,470	学校訪問、諸会議、研修等
需用費	25,816	教材、教育資料等
負担金補助及び交付金	11,853,000	指導主事派遣負担金
合計	12,332,422	

○事業の効果

- ①家庭への働きかけが必要な児童生徒についてはスクールソーシャルワーカーと連絡調整を行いながら福祉・医療等の関係機関との情報共有を元に対応することができた。
- ②不登校（傾向）の児童生徒への対応については在籍校や関係機関と連携し、不登校状態の改善が見られる等の事例があった。
- ③「江津市学力育成サイクルプラン」に基づく学校訪問を継続的に行い、「授業改善アクションプラン」を校内研究と関連付けながら「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善に向けて指導・助言を行った。また、訪問時には新学習指導要領の具体的な説明や移行措置期間にすべきことの確認を行った。
- ④全国学力・学習状況調査や県学力調査の結果を学校ごとに分析・提供し、「学力育成担当者会」ではアクションプランの検証方法についての説明を行った。
各学校で授業改善を柱としたPDCAサイクルが回るよう助言を行うことで、「授業改善アクションプラン」が機能し、教職員の授業改善に対する意識が高まってきている。
- ⑤令和2年度から始まる「キャリア・パスポート」や「プログラミング教育」について江津市としての取り組みの指針を示し、教職員のニーズに応じた研修会を実施することで円滑な取り組みにつなげることができた。
- ⑥令和2年度より教科化となる小学校外国語、小学校外国語活動、中学校外国語に係る授業力向上に向けて重点的な訪問指導を行うとともに、小中学校の教員を対象とした研修会を行い、小学校から中学校への学びの継続性への意識を高めることができた。
- ⑦市内道徳教育推進教師を対象に「道徳科の指導と評価研修会」を開催し、指導計画づくりや評価の在り方について研修する機会を持った。

事業名	学校空調整備事業（繰越）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 〔R2部署〕	学校教育課	管理係		項	01	教育総務費
				目	02	事務局費
事業費		200,004,560円	事業の目的・目標	全国的に酷暑が続き、熱中症で倒れる児童・生徒が増える中、教育現場におけるエアコン整備が喫緊の課題となっている。 特別支援学級を含む全普通教室へエアコンを整備することにより、児童生徒への暑さの負担を軽減し、より快適な学習環境をつくる。		
財源内訳	国庫支出金	55,363,000円				
	県支出金	円				
	地方債	144,600,000円				
	その他	41,560円				
	一般財源	円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績 事業期間：H30年度～R1年度 進捗率：100%
 国の特例交付金を活用して、令和元年8月末までに市内小中学校の全普通教室へエアコンを設置する。

●学校別エアコン設置内訳

小学校名	設置数		中学校名	設置数	
	室内機	室外機		室内機	室外機
郷田小学校	8	8	江津中学校	10	10
渡津小学校	8	8	江東中学校	7	7
江津東小学校	11	11	青陵中学校	12	12
川波小学校	8	8	桜江中学校	6	6
高角小学校	14	14	《小学校計》	74	74
津宮小学校	17	17	《中学校計》	35	35
桜江小学校	8	8	《小中合計》	109	109

●事業費

(単位：円)

業務の内容			請負金額	
空調整備工事	中部地区①（郷田小・渡津小）	(機械設備)	20,279,160	
		(電気設備)	37,497,600	
	中部地区②（高角小・江津中）	(機械設備)	28,906,200	
		(電気設備)	29,249,640	
	西部地区（川波小・津宮小・青陵中）	(機械設備)	39,963,240	
		(電気設備)	21,861,360	
	東部地区（江津東小・江東中）	(機械設備)	20,944,440	
		(電気設備)	10,667,160	
	桜江地区（桜江小・桜江中）	(機械設備)	15,609,240	
		(電気設備)	9,686,520	
	合計			234,664,560
	H30年度決算額			34,660,000
R1年度決算額			200,004,560	



【高角小学校】



【江津中学校】

○事業の効果

エアコンを整備することにより、児童生徒への暑さの負担を軽減し、より快適な学習環境をつくることができた。

事業名	小学校管理費（繰越）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 〔R2部署〕	学校教育課	管理係		項	02	小学校費
				目	01	学校管理費
事業費		4,205,000円	事業の目的・目標	川波小学校のプールろ過装置が故障したため、機器の更新を行う。 機器の更新を行うことにより、快適なプール学習の環境をつくる。 安全点検の結果に基づく、警察署からの助言により、通学路の防犯対策のためにカメラを設置する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	4,205,000円				
	一般財源	円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- ①川波小学校のプールろ過装置の更新工事を行う。
- ②通学路へ防犯カメラを設置する。

○事業実績

① 川波小学校プール循環ろ過装置更新工事



【改修前】



【改修後】

節	内容等	金額
工事請負費	ろ過装置故障に伴う更新	事業費：3,715,200円 内H30年度繰越：2,553,000円 R1年度決算：1,162,200円

②防犯カメラ新規設置箇所 5箇所（敬川町1、波子町1、二宮町神主1、嘉久志町2）



【嘉久志町（江津敬川海岸線沿い）】

節	内容等	金額
負担金補助及び交付金	防犯自治会補助金	1,652,000円

○事業効果

- ①プール水が循環され、安心してプールを使用することができるようになった。
- ②防犯効果も高まり、児童生徒の登下校の安全安心につながった。

事業名	小学校施設耐震化事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	学校教育課	管理係		項	02	小学校費
				目	01	学校管理費
事業費		121,151,800円	事業の目的・目標	渡津小学校屋内運動場は昭和47年に建設されており、耐震性能向上及び老朽化対策が必要である。 耐震補強等計画に基づく耐震補強工事及び大規模改造工事を実施し、施設の安全性を確保する。		
財源内訳	国庫支出金	25,511,000円				
	県支出金	円				
	地方債	95,600,000円				
	その他	円				
	一般財源	40,800円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績 事業期間：H29年度～R1年度 進捗率：100%

H29年度の診断結果に基づく補強計画の策定（補強計画の他、老朽化により施設の改修が必要なことから、改修に係る計画を併せて策定）をH30年度に行い、それに基づき、耐震補強工事及び大規模改造工事を行った。

●建築物の概要

施設 渡津小学校屋内運動場
 構造 鉄骨造 地上1階
 面積 544㎡
 竣工 昭和47年



【改修前：外観】



【改修後：外観】



【改修前：内部】



【改修後：内部】

●事業費

渡津小学校屋内運動場耐震改修工事 121,151,800円

●改修内容

①耐震補強工事

1. 屋根ブレース補強
2. 地中梁補強（コンクリート工事含む）
3. 柱脚の補強
4. 妻柱の補強
5. 爆裂補修

②大規模改造工事

1. 屋根改修工事
2. 外壁工事
3. アリーナ床等工事
4. 建具工事
5. 機械設備工事
6. 電気設備工事

○事業の効果

工事实施により、耐震性能であるIs値が、目標値であるIs値=0.70（補強後Is値=0.84）を上回る事ができた。

事業名	小学校教育振興費		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 〔R2部署〕	学校教育課	管理係・学事係		項	02	小学校費
				目	02	教育振興費
事業費		41,932,959 円	事業の目的・目標	小学校教育の振興のため、教材や図書の購入を行うとともに経済的理由により就学困難な児童及び特別支援学級に在籍する児童への援助を行う。		
財源内訳	国庫支出金	1,129,000 円				
	県支出金	円				
	地方債	14,700,000 円				
	その他	3,738,000 円				
	一般財源	22,365,959 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

●就学援助事業

区分	決算額 (円)	備考
学用品費等	3,027,539	対象人員 144 人 学用品費・通学用品費・新入学用品費・校外活動費・修学旅行費
新入学用品費 (入学前支給分)	708,400	対象人員 22 人 令和2年度入学予定児童対象
学校給食費	6,666,030	対象人員 144 人
生徒会・PTA会費	515,140	対象人員 122 人
医療費	203,682	対象人員 23 人
特別支援教育費	570,202	対象人員 18 人
合計	11,690,993	

●小学校教育用コンピュータ整備事業

- ・コンピュータ借上料 17,844,960円

●その他

費目	決算額 (円)	備考
報償費	108,550	入学祝
需用費	4,152,877	教師用教科書・社会科副読本印刷代
委託費	848,423	配信プリントシステム委託料
原材料費	78,316	生活科等材料費
備品購入費	7,208,840	図書購入費・教材購入費
合計	12,397,006	

○事業の効果

就学援助では、経済的な理由により就学困難な世帯に対し、学校生活を送る上で必要な経費の一部を支給している。これにより、対象世帯の経費負担軽減を図っている。

また、市内7小学校に、教育用コンピュータやソフト等をリースにより整備し、コンピュータの基本的な操作を身につけるとともにインターネット等から得た情報をまとめたり、個々の考えを大型テレビに映し出し、全員で共有するなどの学習活動を行った。また、デジタル教科書などの電子教材や実物投影機等を活用し児童の学習に対する関心を高めることができた。

事業名	中学校教育施設整備事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	学校教育課	管理係		項	03	中学校費
				目	01	学校管理費
事業費		26,181,400円	事業の目的・目標	桜江中学校屋内運動場は老朽化等により雨漏りが発生しており、授業等への影響が出ているため屋根改修工事を行う。 また、生徒昇降口も老朽化により雨漏りが発生しているため、屋上防水改修工事を行う。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	26,100,000円				
	その他	円				
	一般財源	81,400円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

屋内運動場の屋根については、H30年度に実施設計を行い、それに基づき、カバー工法による屋根改修工事を行った。生徒昇降口屋上はシート防水による屋上防水改修工事を行った。

●建築物の概要

施設 桜江中学校屋内運動場
 構造 鉄骨造 地上2階
 面積 1,233㎡
 竣工 S52年
 履歴 H21年度 耐震補強済み



【改修前】



【改修後】

施設 桜江中学校 校舎(昇降口)



【改修前】



【改修後】

●事業費

桜江中学校屋内運動場屋根改修工事 23,922,000円
 桜江中学校昇降口屋上防水改修工事 2,259,400円

●改修内容

屋内運動場屋根改修工事	昇降口屋上防水改修工事
・ガルバリウム折板(カバー工法)	・塩化ビニル樹脂系シート防水
・ 樋及び呼樋の取替	平場部 機械固定工法
	立上部 接着工法

○事業の効果

工事を実施したことにより、雨漏りが無くなった。

事業名	中学校教育振興費		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 〔R2部署〕	学校教育課	管理係・学事係		項	03	中学校費
				目	02	教育振興費
事業費		32,964,798円	事業の目的・目標	中学校教育の振興のため、図書や教材の購入を行うとともに経済的事情により就学困難な生徒及び特別支援学級に在籍する生徒への援助を行う。		
財源内訳	国庫支出金	729,000円				
	県支出金	円				
	地方債	10,000,000円				
	その他	3,136,000円				
	一般財源	19,099,798円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

●中学校就学援助事業

区分	決算額(円)	備考
学用品費等	3,619,584	対象人員 77人 学用品費・通学用品費・新入学用品費・校外活動費・修学旅行費
新入学用品費 (入学前支給分)	1,836,800	対象人員 32人 令和2年度入学予定生徒対象
学校給食費	3,841,595	対象人員 77人
生徒会・PTA会費	615,800	対象人員 77人
医療費	50,921	対象人員 8人
特別支援教育費	335,882	対象人員 6人
合計	10,300,582	

●中学校教育用コンピュータ整備事業

・コンピュータ借上料 12,808,261円

●その他

費目	決算額(円)	備考
報償費	173,194	卒業記念品
需用費	960,607	消耗品・楽器の修繕料
委託費	388,800	配信プリントシステム委託料
原材料費	95,289	技術家庭科等原材料費
備品購入費	7,457,085	図書購入費・教材購入費
負担金補助及び交付金	780,980	桜江中学校遠距離通学生徒通学費補助金
合計	9,855,955	

○事業の効果

就学援助では、経済的な理由により就学困難な世帯に対し、学校生活を送る上で必要な経費の一部を支給している。これにより、対象世帯の経費負担軽減を図っている。

また、市内4中学校に教育用コンピュータ、学習用ソフト等をリースにより整備し、インターネット等から得た情報を学習に役立てたり学習の記録をまとめる際に活用した。

事業名	図書館運営事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	社会教育課	社会教育係		項	04	社会教育費
				目	02	図書館費
事業費		26,082,809円	事業の目的・目標	市民の文化教養を高めるため、情報化時代にふさわしい多種の図書館資料を収集整備し、市民に自由で公平な利用ができる場を提供する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	2,499,904円				
	一般財源	23,582,905円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

費目	金額(円)	内容
報酬	17,500	図書館協議会委員報酬
旅費	14,840	図書館協議会委員旅費
需用費	1,234,791	光熱水費
役務費	12,204	自動車損害保険料
委託料	22,287,570	指定管理料等
備品購入費	2,499,904	図書購入費
負担金及び交付金	16,000	島根県公共図書館協議会会費等
合計	26,082,809	

●蔵書冊数

区分	蔵書冊数	受入図書	廃棄図書	令和元年度末蔵書冊数
本館	71,822冊	1,691冊	88冊	73,425冊
桜江分館	15,952冊	403冊	139冊	16,216冊
計	87,774冊	2,094冊	227冊	89,641冊

●利用状況

区分	本館	桜江分館	移動図書	計
開館日数	282日	282日		
入館者数	13,187人	4,547人		17,734人
利用者数	8,959人	1,680人		10,639人
登録者数	1,020人	217人		1,237人
貸出冊数	38,047冊	4,155冊	166冊	42,368冊

●文化活動

講座等	会員数	開催日数	開催期日または定例日
古文書を読む会	28人	11回	毎月第1土曜日 14:00~16:00
歴史を楽しむ会	9人	10回	毎月第2月曜日 14:00~16:00
本と子育てを語る会	10人	6回	毎月第4日曜日 13:30~16:00

●その他

・催し

4/27(土)~5/26(日)	こども読書週間企画	参加者	本館98人 分館110人
8/3(土)~18日(日)	としょかん縁日	参加者	約100人
10/19(土)~30(水)	としょかんまつり(読書週間企画)	参加者	本館約30人 分館約20人
12/7(土)~25(水)	星に願いを(クリスマスツリーを飾ろう)	参加者	本館77人 分館33人
12/21(土)~1/15(水)	福ぶっくろ	参加者	本館70人 分館33人
4/28、8/4、18、10/27、12/12、1/12	としょ活	参加者	41人
6月・9月・2月	ええこバック	参加者	40人

・読書普及・文化活動の支援

しまね子どもの読書等推進の会江津支部との連携協力
読み聞かせ支援コーナー設置とブックレット作成

・その他

職場体験(9/18~20)：中学生3名
ボランティアの受け入れ(延べ44回)
江津市図書館協議会 8/9(金) 委員10名出席

○事業の効果

蔵書の充実、文化活動への支援、広報活動などにより、少しずつではあるが、図書館利用者の増加につながっている。

事業名	人権教育推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	人権同和教育課	人権同和教育係		項	04	社会教育費
				目	03	社会人権・同和教育費
事業費		446,086円	事業の目的・目標	人権尊重、自由平等の精神を基盤に人権・同和教育問題を正しく理解し、市民一人ひとりが、自らの課題として捉え、早期解決が図られるよう「差別しない」「差別させない」「差別は許さない」心情と態度を育てる。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	446,086円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

概要	決算額(円)
<ul style="list-style-type: none"> ●みんなで考える人権のつどいの開催 期間：7月～3月 会場：16地域コミュニティ交流センターほか 計17箇所 演題：「暮らしの中の人権Ⅷ ～今を共に生きる～」 講師：二又 茂樹（社会教育指導員） 参加者数述べ：384人 ●地域別人権問題研修会の開催 11月14日 江東中学校 講師：女鹿田陽 参加者数：70人 11月21日 青陵中学校 講師：三光スーパーズ 参加者数：258人 12月4日 江津中学校 講師：鶴川美和 参加者数：250人 12月5日 桜江中学校 講師：鶴川美和 参加者数：56人 ●人権問題学習会の開催 3小学校で計画されていたが、感染拡大防止のため中止 ●人権・同和教育主任等研究協議会の開催 期間：6月・11月・2月（年3回開催）（参加者数延べ：86人） 内容：講演・分科会 	185,740
<ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発作品展の開催（応募数986点 表彰数33点） 期間：11月28日～12月10日 会場：江津市総合市民センター（エントランスホール） 内容：人権イラスト・作文・メッセージの展示 表彰式：各学校 	155,039
●その他事務	105,307
合計	446,086

○事業の効果

市内地域コミュニティ交流センターの巡回講演と地域別人権問題研修会を開催し、より一層の人権教育の推進が図られた。児童・生徒が自ら人権メッセージを作成・発信することで、問題意識を正しく持ち、人権を互いにかつ多角的に考える機会を得ることができた。



主任等研究協議会（全体会）



人権啓発作品展



みんなで考える人権のつどい

事業名	社会教育活動費		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	社会教育課	社会教育係		項	04	社会教育費
				目	05	社会教育活動費
事業費		854,800 円	事業の目的・目標	生涯の各時期にわたって幅広く学習活動ができるよう、市民の学習要求を満たし、自己啓発がすすめられる集団学習と地域活動を奨励する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	854,800 円				

施策の内容、実績、及び効果

1 出前講座 91,800 円

○事業の内容

市民が受講したい内容をメニュー表から選び、市職員・公的機関職員等が講師となり地域へ出かけお話しする。

○事業の実績

・実施件数および参加者数
令和元年7月～令和2年3月 116件 2,833人 (平成30年度 111件 2,879人)

○事業費の内訳

費目	金額 (円)	内容
需用費	91,800	印刷製本費 (出前講座メニュー表)

○事業の効果 【受講者・アンケートより】

- ・毎年、普通救命講習を受講しているが、昨年と変わった点もあり、何度も最新の講習を受ける必要があると感じました。
- ・特殊詐欺の講習を受け、自分は大丈夫という過信が危険であることを学びました。
- ・クッキング教室を受講し、みんなで和気あいあいと食事を作ることができて楽しかったです。やっぱり食事は、大事だと感じました。
- ・エンディングノートの作成方法を学び、人生の最後に関する考え方の参考になりました。

2 地域活動支援事業 700,000 円

○事業の内容

女性の目から見た地域課題の研修や人づくり・地域づくりのための学習活動で、討議、実験、演習、見学など幅広い活動を行う。
実施主体： 江津市連合婦人会、各地域8婦人会

○事業の実績

・実施件数および参加者数
100回 4,265人

○事業費の内訳

費目	金額 (円)	内容
委託料	700,000	地域活動支援事業委託料 (各地区200,000円、連合会500,000円)

○事業の効果

各地区の中核とし、様々な問題に女性の感性である包容力をもち備え、「元気・勇気・感動」のいきいきとした町づくりに向け自己研鑽に努め、明るい安全・安心な住んでよかったと言えるような社会づくりに積極的に努めている。

事業名	ふるさと教育推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	社会教育課	社会教育係		項	04	社会教育費
				目	05	社会教育活動費
事業費		930,000 円	事業の目的・目標	学校と家庭とが一体となり、ふるさとの人とのふれあい、自然・歴史・文化・伝統行事・産業等の教育資源を活用した授業や地域での体験活動を通し、子どもたちの豊かな人間性や社会性、ふるさとを大切にする心の育成を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	930,000 円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

全小中学校において実施した。
 地域講師による授業が充実し、長年にわたり積み重ねられた学習が生かされてきた。地域の「ひと・もの・こと」に直接関わりながら、それぞれの学校で独特な活動を展開。
 小学校では主に、地域に出向き、人や自然に触れたり、施設を訪ね現状を見聞きし、地域の人とのふれあいのなかで、自分たちのふるさとについて学ぶ。
 中学校では、地域の課題や社会の問題を知ること、自身の将来設計を考えることにつながり、学習意欲の向上を図る。

○事業の実績

	ふるさと教育の経費（円）		計（円）
	報償費	活動経費	
郷田小学校		70,000	70,000
渡津小学校	20,400	49,600	70,000
江津東小学校	15,000	55,000	70,000
川波小学校		70,000	70,000
津宮小学校		70,000	70,000
高角小学校	18,600	51,400	70,000
桜江小学校	7,200	62,800	70,000
江津中学校		70,000	70,000
江東中学校		70,000	70,000
青陵中学校		70,000	70,000
桜江中学校	14,400	55,600	70,000
教育委員会事業費	89,600	70,400	160,000
計	165,200	764,800	930,000

○事業の効果

- ・地域とのふれあいで、児童生徒の学習内容の多様化に寄与した。
- ・地域の伝統芸能や、伝統文化の保存・伝承に携わる方に、発表の場を設ける事ができ、今後の活動の活力へつなぐことができた。
- ・ふるさと教育に関わる地域の方も、子どもの成長を目の当たりにして、社会貢献の大切さや、やりがいを実感できた。
- ・ふるさと江津への愛着を深める活動になった。



お米博士になろう！田植え体験



道の駅「サンピコごうつ」講話

事業名	学校支援地域本部事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	社会教育課	社会教育係		項	04	社会教育費
				目	05	社会教育活動費
事業費		683,000 円	事業の目的・目標	「学校・家庭・地域」が連携し、地域ぐるみの学校支援体制を構築し、子どもたちの健全な発育に資することを目標とする。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	455,000 円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	228,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

近年のいじめ、不登校など、青少年をめぐる様々な問題が発生している背景として、地域における地縁的なつながりの希薄化や個人主義の浸透などによる、いわゆる「地域の教育力の低下」が指摘されている。

また、学校教育においては、教育活動以外の業務等の増加による教員の業務量の増加が問題となっており、教員の勤務負担を軽減するなど、積極的に時間外勤務を縮小し、教員が子ども一人ひとりに対するきめ細やかな指導の時間の確保が課題となっている。

これらを踏まえ、地域全体で「次世代を担う子ども」の学校の教育活動や放課後の活動を支援するため、学校・家庭・地域の連携体制の構築を図り、多様な支援を可能とし、学校・家庭・地域が三位一体となって子どもと向き合う時間の拡充を図る。

○事業の実績

1. 各小中学校における学校支援ボランティアへの取組み

- ①学習支援活動のボランティア紹介、学校に関わる地域の人材発掘
- ②部活動指導、クラブ活動指導の人材紹介
- ③登下校時の安全指導員の調整
- ④学校環境整備活動の人員確保
- ⑤放課後子ども教室との連携
- ⑥ふるさと教育の講師・ボランティアの紹介

2. 各種研修会への参加

- ・支援活動事業数 : 合計 876 日
- ・参加人数(延べ) : 合計 9,202 人

○事業費の内訳

費目	金額(円)	内容
諸謝金	352,200	コーディネーター活動謝金
需用費	185,800	会議資料紙代等消耗品
役務費	145,000	ボランティア連絡用切手、ボランティア保険料
計	683,000	

○事業の効果

・地域コーディネーターの活動により、地域コミュニティ組織と連携しながら学校支援活動を行っているところもあり、参加者も増加傾向にある。

・ふるさと教育、放課後支援、キャリア教育にも、コーディネーターが関わるようになり、社会教育事業の核となっている。

事業名	放課後子ども教室推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	社会教育課	社会教育係		項	04	社会教育費
				目	05	社会教育活動費
事業費		6,146,000 円	事業の目的・目標	学校・家庭・地域社会の連携協力により、子ども達が、健やかに過ごすことができる環境を整備すること。子どもとのふれあいを通じて住民同士のつながりを強め地域力のアップにつなげていくこと。保護者自身も、単に便利なサービスを楽しむ側に回るのではなく、できるだけ積極的に地域の取り組みに関わっていくこと。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	4,097,000 円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	2,049,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 放課後子どもプラン事業（放課後子ども教室推進事業）
放課後等に地域のコミュニティ交流センター等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強・スポーツ・文化活動・交流活動等の取り組みを行う。

○事業の実績

名称	校区	年間実施日数
・郷田っこひろば	(郷田小学校区)	24 日
・アフタースクールまつひらっこ	(郷田小学校区)	5 日
・渡津子どもひろば	(渡津小学校区)	16 日
・江津東すこやか広場	(江津東小学校区)	145 日
・跡市放課後子どもクラブ	(津宮小学校区)	215 日
・波っ子クラブ	(川波小学校区)	8 日
・有福温泉子ども教室	(川波小学校区)	31 日
・二宮集いの家	(津宮小学校区)	216 日
・つのみやっこ広場	(津宮小学校区)	194 日
・角っこひろば	(高角小学校区)	44 日
・桜江小学校放課後子ども教室	(桜江小学校区)	124 日
・お茶のま食堂	(川波・津宮小学校区)	4 日

○事業費の内訳

費目	金額 (円)	内容
報償費	5,654,000	各教室コーディネーター等謝金
需用費	340,037	各教室消耗品等
役務費	151,963	各教室コーディネーター保険料等
計	6,146,000	

○事業の効果

- 学校、家庭、地域が連携することにより、地域で子どもの育ちを支える気運が高まった。
- 放課後子ども教室に参加する子どもは、上級生に面倒を見てもらったり、上級生は下級生の面倒をみるなど、異年齢間の関わりのなかで、相互に成長が見られる。
- 集団で遊ぶことを子どもたちが学び、活発に活動できるようになった。
- 事業に参画する大人も、子どもたちの成長を目の当たりにすることで、社会貢献のやりがいや大切さを感じ、今後の地域活動への活力となった。
- 地域住民の参画：延べ 3,060 人 子どもの参加：延べ 14,299 人

事業名	放課後児童クラブ事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	社会教育課	社会教育係		項	04	社会教育費
				目	05	社会教育活動費
事業費		82,298,100円	事業の目的・目標	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童等に対し、適切な遊び及び生活の場を提供して健全な育成を図る。		
財源内訳	国庫支出金	23,782,000円				
	県支出金	21,953,000円				
	地方債	円				
	その他	13,630,200円				
	一般財源	22,932,900円				

施策の内容、実績、及び効果

○ 事業の内容、実績

費目	金額 (円)	備考
旅費	19,400	旅費
需用費	284,307	消耗品、光熱水費、修繕料 他
役務費	100,259	通信費、手数料、火災保険料 他
委託料	81,894,134	運営委託、浄化槽管理 他
合計	82,298,100	

令和2年3月31日現在

児童クラブ名	入所児童数 (人)					
	指導員数	1年	2年	3年	4年～	合計
津宮放課後児童クラブ	5	28	22	5	0	55
高角放課後児童クラブ	6	19	15	13	2	49
江津東放課後児童クラブ	3	9	8	7	4	28
桜江放課後児童クラブ	3	11	10	11	6	38
渡津放課後児童クラブ	3	12	6	9	2	29
川波放課後児童クラブ	3	11	8	7	3	29
郷田放課後児童クラブ	3	6	12	9	10	37
計	26	96	81	61	27	265

○ 事業の効果

放課後及び長期休業中の子どもの安全で健全な生活の場を提供し、保護者の就労支援に寄与している。

事業名	土曜日の教育支援活動推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	社会教育課	社会教育係		項	04	社会教育費
				目	05	社会教育活動費
事業費		1,193,000 円	事業の目的・目標	土曜日や長期休暇などに、地域の力を活用して児童生徒の学習を支援する体制を整備。 児童生徒の学力補償や、学びのセーフティネット対策とともに、地域活動の活性化に資する活動を推進する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	796,000 円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	397,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

土曜日や長期休暇などに、地域の力を活用して児童生徒の学習を支援する体制と仕組みをつくり、児童生徒の学力補償や、学びのセーフティネット対策とともに、地域活動の活性化に資する活動を推進する。

- (1) 地域住民がコミュニティ交流センター等で、児童生徒の宿題や自学の支援を行う
- (2) 地域住民を講師にコミュニティ交流センター等で、地域の歴史学習やものづくりを行う

○事業の実績

名称	校区	年間実施日数
・ 都治地区サタデースクール	(江津東小学校区)	6 日
・ 浅利地区サタデースクール	(江津東小学校区)	3 日
・ 渡津地区サタデースクール	(渡津小学校区)	8 日
・ 郷田地区サタデースクール	(郷田小学校区)	4 日
・ 嘉久志地区サタデースクール	(高角小学校区)	8 日
・ 和木地区サタデースクール	(高角小学校区)	8 日
・ 都野津地区サタデースクール	(津宮小学校区)	8 日
・ 二宮地区サタデースクール	(津宮小学校区)	8 日
・ 跡市地区サタデースクール	(津宮小学校区)	6 日
・ 集いの家サタデースクール	(津宮小学校区)	8 日
・ 有福地区サタデースクール	(川波小学校区)	2 日
・ 波子地区サタデースクール	(川波小学校区)	8 日
・ 敬川地区サタデースクール	(川波小学校区)	8 日
・ 市山地区サタデースクール	(桜江小学校区)	8 日
・ 川戸地区サタデースクール	(桜江小学校区)	8 日
・ 谷住郷地区サタデースクール	(桜江小学校区)	7 日
・ 川越地区サタデースクール	(桜江小学校区)	6 日
合計		114 日

○事業費の内訳

費目	金額 (円)	内容
報償費	837,600	各教室コーディネーター等謝金
需用費	246,384	各教室消耗品等
役務費	109,016	各教室コーディネーター等保険料
計	1,193,000	

○事業の効果

- ・ サタデースクールを通して地域と子どもたちのつながりが出来た。
- ・ 土曜日に学習時間を設けることで休日の学習習慣が身についた。
- ・ 地域住民の参画：延べ 555人 子どもの参加：延べ 882人

事業名	ふるさとキャリア教育推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	社会教育課	社会教育係		項	04	社会教育費
				目	05	社会教育活動費
事業費		4,500,000円	事業の目的・目標	地域の「ひと・もの・こと」をいかした学習活動をとおして、ふるさとへの愛着と誇りを育むとともに、今の学びと未来の生活のつながりを常に意識して、子どもたちの自立を目指す教育を推進する。		
財源内訳	国庫支出金	2,250,000円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	2,250,000円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- ・ 地域や異文化との交流事業
- ・ 地域企業（団体）との連携事業（体験活動など）
- ・ 地域を知るための自然体験・学習活動
- ・ 職場見学、職場体験
- ・ 地域の教育力と連携した放課後、土曜日等に行う学習活動
- ・ 地域の保育・教育施設（異施設種）との横や縦、斜めのつながりを創るための活動
- ・ 先進的な取組みを実施しているキャリア教育に関する研究者・従事者を招いた講演

○事業費 NPO法人てごねっと石見に委託。 委託料 4,500,000円

費目	金額(円)	備考
委託料	4,500,000	保育園・学校活動費・コーディネーター人件費等
合計	4,500,000	

○事業の効果

- ・ ふるさとの文化や歴史、自然人々について学び、ふるさとへの愛着や誇りを育て、ふるさとへ貢献しようとする意欲と態度を育成することができた。
- ・ 児童、生徒が周囲の人、ふるさとの大切さに気付くとともに、ふるさとに支えられている存在であるということが認識できた。
- ・ 地域の人材が「我がまちの学校」として、学校を末永く支援してくれる体制づくりができた。
- ・ 地域、企業と学校との連携だけでなく、小学校と高等学校、保育所と中学校、大中学校などの市内保育・教育機関との連携が活発になった。



小学生ものづくり体験（江津工業にて）



中高生夏合宿

事業名	教育の魅力化推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	社会教育課	社会教育係		項	04	社会教育費
				目	05	社会教育活動費
事業費		8,600,000円	事業の目的・目標	学校・家庭・地域の連携を図りながら、保育園（認定こども園）・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学校という「校種の壁」を越えた一体的・系統的な教育活動を展開し、地域の特色を活かした「教育の魅力化」に取り組む。		
財源内訳	国庫支出金	3,450,000円				
	県支出金	1,700,000円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	3,450,000円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- ① 市内の保育園（認定こども園）、小・中・高等学校、ポリテクカレッジ島根と地域・行政が一体となって実施する「高校の魅力化」に取り組む。
- ② 「高校の魅力化」はもちろん、現在実施している江津市の「ふるさと・キャリア教育」をさらに充実させるため、これらの取り組みを総合調整し、地域の機運を醸成する統括プロデューサーを配置。
- ③ 市内小中高校に対して、わくわくエンジン®発見プログラムを実施。
また、発見プログラムに関わるナビゲーターの養成を行った。
- ④ 小学生児童に対して楽器体験の教室を実施。
小学生児童に対して、地域の音楽団体・音楽家・中学校吹奏楽部が協力して楽器体験の教室を行った。
他の小学校とのつながり以外にも、教室に関わる大人等のタテ・ヨコ・ナナメの関係を作ることができた。

○事業費

- ① NPO法人てごねっと石見に委託。 委託料 1,700,000円

費目	金額（円）	備 考
委託料	1,700,000	中高生合宿・プログラミング教室運営委託料
合 計	1,700,000	

- ② 合同会社EGAHOUSE&COMPANYに委託。 委託料 3,400,000円

費目	金額（円）	備 考
委託料	3,400,000	統括プロデューサー配置委託料
合 計	3,400,000	

- ③ 合同会社EGAHOUSE&COMPANYに委託。 委託料 3,000,000円

費目	金額（円）	備 考
委託料	3,000,000	小中学生わくわくキャリア教育委託料
合 計	3,000,000	

- ④ 石見音楽文化振興会に委託。 委託料 500,000円

費目	金額（円）	備 考
委託料	500,000	キッズミュージックスクール教室運営委託料
合 計	500,000	

○事業の効果

- ・ ふるさとキャリア教育との連携（親しみや憧れ）による地元高校への進路選択肢の増。
- ・ ふるさとの魅力を伝えること（地域情報の伝達）による進路選択肢の増。



キッズミュージックスクール教室

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	社会教育課	文化スポーツ振興係		項	04	社会教育費
				目	07	文化財保護費
事業費		13,007,798円	事業の目的・目標	埋蔵文化財を保護し、市民の財産として将来へ引き継ぐ。また、調査を積み重ねて得られた成果を市民に伝えることにより、市民の郷土に対する誇りを高める。		
財源内訳	国庫支出金	1,000,000円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	220,768円				
	一般財源	11,787,030円				

施策の内容、実績、及び効果

○施策の内容

文化財保護法に基づく開発事業に伴う埋蔵文化財の取扱いに係る判断基準に則して、必要な埋蔵文化財調査を実施する。また、出土品を適切に取り扱い、活用に資する。

○施策の実績

●波積ダム文化財総合調査事業（発掘調査）

- ・島根県浜田県土整備事務所委託事業（100%補助）
- ・内容：波積ダム工事に伴う遺跡岩瀧寺跡地の記録保存を目的とした発掘調査
- ・委託期間：平成31年4月26日～令和2年8月31日

費目	金額（円）	内容	翌年度への繰越額（円）
共済費	611,478	雇用保険・社会保険・労災保険料	
賃金	5,422,040	調査補助員・事務補助員・作業員	420,726
報償費	10,000	調査指導謝礼金	10,000
旅費	17,860	連絡旅費	
需用費	381,301	消耗品費・光熱水費・燃料費等	804,150
役務費	41,668	電話代・手数料	135,942
委託料	550,000	測量・分析委託	51,867
使用料及び賃借料	3,678,836	調査器材一式・車両・コピー機賃借料使用料	
計	10,713,183		1,422,685

- ・効果：面積約2,500㎡を調査し、中近世の遺構・遺物を発見した。遺物はコンテナ120箱の量であり、新たな地域史解明に繋がる資料を得ることができた。

●遺跡発掘調査費

- ・国庫補助事業（46.7%補助）
- ・内容：詳細分布調査、鉄製品保存処理
- ・期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日
- ・補助金額：1,000,000円

費目	金額（円）	内容
共済費	286	雇用保険・社会保険・労災保険料
賃金	157,165	調査補助員・事務補助員・作業員
旅費	13,200	連絡旅費
需用費	63,089	消耗品費・光熱水費・写真現像代・燃料費等
委託料	1,852,680	測量・分析委託
計	2,086,420	

- ・効果：これまで把握できていなかった江の川流域の石塔の現状を確認した。これにより、市民の問合せ対応や今後の活用に資する情報を集めることができた。

●半田浜遺跡調査事業（発掘調査）

- ・原工務所委託事業（100%補助）
- ・内容：砂採取事業に伴う遺跡（半田浜遺跡）の記録保存を目的とした発掘調査
- ・期間：令和元年5月22日～令和元年5月29日
- ・委託金額：208,195円

費目	金額（円）	内容
共済費	626	社会保険
賃金	207,569	作業員賃金
計	208,195	

- ・効果 面積約400㎡を調査し、古代の遺構・遺物を発見した。遺物はコンテナ4箱の量であり、新たな地域史解明に繋がる資料を得ることができた。



波積ダム文化財総合調査事業（発掘調査）



遺跡発掘調査費-国庫補助事業（詳細分布調査）
石塔石材の鑑定（島根県立三瓶自然館：中村唯史氏）



半田浜遺跡調査事業

事業名	学校給食費		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
担当部署 [R2部署]	学校教育課	管理係		項	05	保健体育費
				目	02	学校給食費
事業費		110,429,159円	事業の目的・目標	安全安心で栄養バランスを考慮した給食を提供することによって、児童生徒の健やかな成長と、食の重要性、食に関する情報発信等の食育の推進に資することを目的とする。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	110,429,159円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

配食実績	学校名	実施日数(日)	実施食数(食)
	郷田小学校	176	17,723
	渡津小学校	177	18,647
	江津東小学校	179	18,994
	川波小学校	178	16,689
	津宮小学校	179	56,208
	高角小学校	180	46,415
	桜江小学校	180	22,914
	江津中学校	173	43,014
	江東中学校	179	11,281
	青陵中学校	174	43,537
	桜江中学校	179	10,114
	江津学校給食センター	184	4,002
	桜江学校給食センター	184	936
	合計	2,322	310,474

○事業の実績

節	内容等	金額(円)
報償費	謝礼金	5,000
需用費	光熱水費、消耗品費、修繕料等	28,537,050
役務費	電話料等	2,366,295
委託料	給食車運転業務委託料等	12,275,809
使用料及び賃借料	CATV、印刷機使用料等	766,950
備品購入費	調理用備品等	2,231,822
負担金補助及び交付金	学校給食会運営費	64,103,833
公課費	給食車重量税	142,400
	合計	110,429,159

○事業の効果

衛生管理の徹底がいつそう向上するように、調理員をはじめ学校給食に関わる職員を対象に衛生管理研修を行った。

食物アレルギーのある児童生徒に対しては、平成29年3月に策定した「江津市学校給食における食物アレルギー対応ガイドライン」に基づき対応を行っている。また、年2回開催している食物アレルギー対応検討委員会では、学校、小児科医等を交えて情報共有を図るほか、アレルギー対応の一連の流れにおける改善について意見交換を行うことにより、より安全安心な給食の提供に努めている。